

「保育所新設で待機児解消を」「新システム阻止の力になって」

保育に関する懇談会ひらく

日本共産党福岡市議団は3月22日、「保育に関する懇談会」を開きました。

市内の認可保育園や保育運動に関わる方々に案内し、当日は保育士や保護者を含め20数名が参加しました。中山いくみ市議団幹事長、倉元たつお市議、熊谷あつ子市議、わたぬき英彦元市議が出席しました。

中山市議が市政報告を行い、熊谷市議が保育分野の新年度予算について報告したのち、参加者からご意見をいただきました。

民主党政権がすすめる「子ども・子育て新システム」は、保育の公的責任が失われってしまうもので、国会でも市議会でも反対してがんばってほしいとの要望が出されました。

切実な要望が次々

待機児問題では「新設や認可化を進めるにはかつてのように市有地の無償貸与をすべきです」「保育所新設による経済波及効果を研究中之でまとまったら活用してください」「待機児解消のために今こそ公立保育所を地域に作ろう」などの意見が出されました。



日本共産党福岡市議団

他にも「営利企業の参入が推進されるのでは」「保育園の平均人数が福岡市は150人で、他の政令市の倍くらい。災害時にはとても避難できないと不安です」「病児保育病後児保育の充実を」「保育士は低賃金で親と一緒に住んでいないと生活できない。ワーキングプアをなんとかしないと保育士が増えません」などのご意見が寄せられました。

また「共産党議員のおかげで保育行政は前進してきました。7人でも少ないくらいだけど全員当選してください」との激励もいただきました。

公的保育の充実へ

党市議らは「貴重なご要望やご意見を聞かせていただきありがとうございます。みなさんの声をうけて、新システム阻止と公的保育の充実、保育所運営への支援強化、保育所の新設による待機児解消、保護者の負担軽減、保育士の処遇改善など、よりよい保育行政をめざしてさらに奮闘します」と決意を述べ、今後懇談会を開くことを約束しました。

がんばります



ひえじま俊和 市議(博多区) 星野みえ子 市議(中央区) 宮本秀国 市議(南区) 倉元たつお 市議(城南区)



中山いくみ 市議(早良区) 熊谷あつ子 市議(西区) わたぬき英彦 元市議(東区)